

三栄建築設計



同じ家は、つくらない。

同じ家は、つくらない。— 分譲住宅を「積極的に選ぶ」時代が来た。

Biz Life Style

注目企業の今



【写真大】「同じ家は、つくらない。」を象徴する三栄建築設計のTVCM。その土地の環境に合わせた家づくりをすることから、通常ありえない「崖」という環境にも適合させられる家づくりを表現した内容となっている。

【写真小3点】こちらは「街並み」の視点で撮影したカット。一番上はミコノス島をモチーフに、二番目は京都の町家の雰囲気を出し、三番目は英国の街並みを表現している。

住まい選びの際、多くの家庭では「分譲住宅」が優先順位の上位に来るだろう。もちろん価格面での魅力が大きいのが、最近ではデザイン性も高まっており、間取りもしっかり考慮された物件が増えてきた。とは言え、やはりメーカーごとに得意な外観やテイストがあるためか、目が慣れてくると「もつひとつ突き抜けて欲しい」とも思ったりする。

挑戦的なスローガンの裏に隠れた独特な住まいづくりの本質とは

まずは左の写真をご覧ください。これらは実際に販売された分譲物件の例だが、見事にテイストが異なるのが分かる。ヨーロッパの歴史ある住宅街を思わせるもの、日本の古都の町屋を彷彿とさせるもの、見える景色も、風の通る道も違つそれぞれ土地に対し、最適と思われる住まいをつくる。これを前提にするのであれば、物件によって個性が大きく異なるのは、むしろ当然なのかもしれない。と、口で言うのは簡単だが、実践するのは容易ではない。

分譲なのにオンリーワンの住宅づくり背景にあるのは総合的な企業力

ほとんど注文住宅のような存在感を放つ、同社の分譲住宅。購入する顧客も目が肥えており、外観デザインだけでなく壁紙や照明などの仕様、生活動線などもしっかりとチェックして購入する例が多いとか。顧客の厳しい目に晒されても揺るがない

担当、設計と施工の実務を行う責任者ら、そして販売営業のチームが全員で現地を視察した上で、ディスプレイを重ねる。これは、たとえば冬に取得した土地が夏になると想像以上に日照時間が長かった。など、立地条件を把握し、プランに反映することにも役立つ。

一見、当然のことのようにも思えるだろう。だが、「土地を早く売り切りたい」企業側の視点で考えれば、ことはそう簡単ではないと想像いただけるはずだ。単に「発想やデザインの引き出し」が多いのではなく、こうしたショートカットを好まない企業風土があるからこそ、写真のように万人の目を引く住まいを実現できるのだ。

横展開も活発だ。首都圏の郊外向けに高品質かつ手ごろな住宅を提案する「三建アーキテクト」や不動産仲介の「三栄リビングパートナー」、自社設計施工のマンション分譲などを手がける関西の「シード平和」、アトリエ系設計事務所の「アンスデザインワークス」など、グループとしての業容は拡大の一方。ニーズへの対応の幅が広がり、各分野で得た経験が分譲物件にフィードバックされるという好循環を生んでいる。もちろん、注文住宅や不動産投資などの相談も可能だ。

構造や仕様へのこだわりは、WEBサイトでご確認を。

http://www.san-a.com/

三栄建築設計 検索

SANEI ARCHITECTURE PLANNING GROUP

株式会社 三栄建築設計 本社・東京支店/東京都杉並区上荻1-2-1インテグラルタワー4B TEL.03-5335-7233

同じ家は、つくらない。

三栄建築設計

www.san-a.com